

第4問対策

CVP分析と労働生産性分析が出題されている
確実に得点をとろう

1. 生産性分析

付加価値＝建設業経理士では控除法（完成工事高－仕入高－外注費－労務外注費）

労働生産性＝付加価値／総職員数（技術も事務も）

付加価値分配率＝人件費／付加価値×100

設備投資効率＝付加価値／建設仮勘定を除く有形固定資産

＜労働生産性の完成工事高による展開

完成工事高／総職員数 × 付加価値／完成工事高（**付加価値率**）

＜労働生産性の総資本による分解

総資本／総職員数（**資本集約度**） × 付加価値／総資本（**総資本投資効率**）

1人あたりに集約するとどれくらい 総資本でどれだけの付加価値出したか
資本あるか

＜労働生産性の有形固定資産による分解

建設仮勘定を除く有形固定資産／総職員（**労働装備率**） 1人当たりの機械

× 付加価値／建設仮勘定を除いた有形固定資産（**設備投資効率**）

設備投資でどれだけ付加価値出したか

第5問の18回対策で詳しく解説しております。そちらも参照してください。

<第 19 回>

付加価値 = $27,500,000 - 3,146,000 - 1,573,000 - 15,488,000 = 7,293,000$

問 2 : 労働生産性 = $7,293,000 / 250 = 29,172$

問 3 : 資本集約度 = 総資本 / 250 = 125,000 ∴ 総資本 = $125,000 \times 250 = 31,250,000$

→ 総資本回転率 $27,500,000 / 31,250,000 = 0.88$ 回

問 4 : 営業利益増減率 $2,316,000 \rightarrow 2,145,000 \quad \Delta 171,000 / 2,316,000 \times 100 = \Delta 7.38\%$

<第 16 回>

問 1 : 付加価値 = $18,000,000 - 3,375,000 - 1,620,000 - 6,750,000 = 6,255,000$

付加価値率 = $6,255,000 / 18,000,000 = 34.75\%$

問 2 : 労働装備率 = $(2,800,000 - 210,000) / 150 \text{ 人} = 17,266.666$

問 3 : 設備投資効率 = $6,255,000 \div (2,800,000 - 210,000) = 241.505 \cdot \cdot \%$

問 4 : 変動費 = $13,500,000 - 220,000 = 13,280,000$

固定費 = $3,972,000 + 193,400 = 4,165,400$

貢献利益 = $(18,000,000 - 13,280,000) = 4,720,000$

BEP 売上高 = $4,165,000 / (4,720,000 / 18,000,000) = 15,885,000.0001 \cdot \cdot$

BEP 比率 = $15,885,000.0001 / 18,000,000 = 88.25$

2. CVP分析

損益分岐点売上高の式→完成工事高－変動費－固定費＝0

完成工事高×変動費率＝変動費

完成工事高×限界利益率＝限界利益

1－変動費率＝限界利益

この関係をしっかり押さえておく

<第18回>

完成工事高の求め方

損益分岐点売上高 (32,800) － 変動費 － 14,760 = 0 ∴ 変動費 18,040

変動費率 18,040 / 32,800 = 0.55

27期完成工事高 = 27期変動費 20,240 ÷ 0.55 = 36,800

限界利益 → 限界利益率 0.45 ∴ 36,800 × 0.45 = 16,560

問3

$$X - 0.55X - 17,460 = 0.075X$$

問4

$$\text{付加価値} = 36,800 - 1,965 - 1,297 - 10,170 = 23,368$$

$$\text{付加価値率} = 23,368 / 36,800 \times 100 = 63.5\%$$

<第17回>

損益分岐点	安全余裕額
完成工事高	

$$\text{問1} : 36,000,000 \times 0.8 = 28,800,000$$

$$\text{問2} : 7,200,000 / 36,000,000 \times 100 = 20\%$$

問3 : 第4期売上 36,000,000

$$28,800,000 - \text{変動費} - \text{固定費 } 12,960,000 = 0$$

$$\therefore \text{変動費} = 15,840,000 \rightarrow \text{変動費率} = 0.55$$

$$\text{第4期完成工事高 } 36,000,000 \times 0.55 = 19,800,000$$

(注 : 28,800,000 × 0.55 = 15,840,000 としない事)

問4 : 上記より変動費率 55%

$$X - 0.55X - 12,960,000 = 0.18X$$

$$\therefore X = 48,000,000$$